



文殊の森



〒039-4222 青森県下北郡東通村大字砂子又字里17-2

公益社団法人地域医療振興協会 東通地域医療センター

TEL 0175-28-5600

URL <https://higashidori.jadecom.or.jp/>

公益社団法人地域医療振興協会

東通地域医療センター

『文殊の森』について

2021/12/24 東通地域医療センター長 川原田 恒

診療所周囲の美しい森で「三人寄れば文殊の知恵」の文殊菩薩に由来。地域医療振興協会の理念「医療人、住民、行政が三位一体となって、、、」と、三大霊場の一つである当地の恐山を開いた慈覚大師円仁が留学した唐で巡礼した五台山の本尊が文殊菩薩であることなどにちなみ、2010年に医師住宅群が完成したのを機に、研修医や村の子ども達が勉学に励むことも願って命名。

さらに、ここを拠点にセンターとして以下の活動を、村の計画など共通認識に基づき行っている。

- ① 地域医療教育
- ② 健康活動
- ③ 文化活動
- ④ 人材育成（奨学金）
- ⑤ 文殊の森の広報



【共通認識】

大前提：東通村新総合振興計画（1995年）

快適な生活を営むために基盤整備・定住促進の一環として保健・医療・福祉の総合施設を作る→東通地域医療センターが委託管理

私たちのミッション: (2018/5/18 ワークショップ)



- ① 良い職場環境づくりを行う
- ② 医療・保健・福祉システムを継続して行う
- ③ 健康づくりを率先して行う
- ④ 人材育成を継続して行う
- ⑤ 地域が活性化するアイデアを持ち実行する

東通村総合環境プラン（2011/3）

目的＝村民の感性を満たし、心を豊かにする自然環境と景観及び潤いのある良好な生活環境を築くため、村民・企業・行政が共に行動し、自然環境の保全、保護並びに利活用に配慮した独自の村づくりを進め、次世代に適切に引き継ぐことを目的とします。

感性社会資本（21世紀ひょうご創造協会、1995）

これまでの経済効率主義のもとでは、道路・下水道・公園などの社会基盤のストックは、産業基盤を中心に整備されてきたため、個人の生活の基盤となる身近なローカルストックは十分とは言えない。また整備されたストックも画一的なものが多く、質的にも必ずしも満足すべきものとなっていない。ここで、地域において、自らの生活信条あるいは生活美学を追求する人々の、「五感を刺激し、感性（感覚・情緒）を満たし、育むことによって、こころを豊かにする社会資本」、すなわち「感性社会資本」というべきものへの認識と構築が求められる。

医師住宅群のテーマなど

竣工：2010年10月

構成：医師住宅3棟＋研修医棟（シングル3室、ツイン1室）

テーマ：地域医療を担う“群”としてのデザイン

キーワード：

『ならぶ』『かこむ』『むかいあう』『よりそう』『つながる』

コンセプト：

- ① 豊かな自然環境にとけ込み、周辺の景観に配慮した住宅
- ② 住みやすく安心・安全な居心地のよい住宅
- ③ 地域医療に関わるものが地域を担い、地域に根ざす拠り所となる住宅